

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 5 月 6 日 (2021.5.6)

【公開番号】特開 2019-170974 (P2019-170974A)
 【公開日】令和 1 年 10 月 10 日 (2019.10.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-041
 【出願番号】特願 2018-66272 (P2018-66272)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 29 日 (2021.3.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種類の表示演出を実行可能な表示手段と、
 図柄の変動表示を表示可能な図柄表示手段と、
 前記図柄表示手段による前記図柄の変動表示に応じて装飾図柄の変動表示を表示可能な装飾図柄表示手段と、

を備え、

第 1 の遊技状態と、第 1 の遊技状態よりも遊技者にとって有利な第 2 の遊技状態とを有し、前記第 2 の遊技状態は、前記図柄表示手段による前記図柄の変動表示が予め定められた回数実行されるまで継続する遊技機であって、

前記表示手段は、前記複数の表示演出のうちの一つの演出として、前記第 2 の遊技状態における前記図柄の最終変動表示がおこなわれているときに所定のメータ演出を実行可能であり、

前記メータ演出は、第 1 画像と第 2 画像とを有し、前記図柄の変動表示に応じて前記第 2 画像が前記第 1 画像上を第 1 位置から第 2 位置まで移動することで、当該図柄の 1 回の変動を報知可能とし、

前記装飾図柄表示手段は、疑似連演出を実行可能であり、

前記第 2 画像は、前記疑似連演出における前記装飾図柄の擬似的な変動表示の回数に応じて移動し、

前記疑似連演出において、前記第 2 画像が前記第 1 画像の所定位置まで移動したら、前記装飾図柄の擬似的な変動表示を強制的にリーチにする、

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

複数種類の表示演出を実行可能な表示手段と、

図柄の変動表示を表示可能な図柄表示手段と、

前記図柄表示手段による前記図柄の変動表示に応じて装飾図柄の変動表示を表示可能な装飾図柄表示手段と、

を備え、

第 1 の遊技状態と、第 1 の遊技状態よりも遊技者にとって有利な第 2 の遊技状態とを有し、前記第 2 の遊技状態は、前記図柄表示手段による前記図柄の変動表示が予め定められ

た回数実行されるまで継続する遊技機であって、

前記表示手段は、前記複数の表示演出のうちの一つの演出として、前記第2の遊技状態における前記図柄の最終変動表示がおこなわれているときに所定のカウンtdown表示演出を実行可能であり、

前記カウンtdown表示演出は、カウンtdown表示が第1の数値から所定数ずつ減算されて第2の数値になることで、当該図柄の1回の変動を報知可能とし、

前記装飾図柄表示手段は、疑似連演出を実行可能であり、

前記カウンtdown表示は、前記疑似連演出において前記装飾図柄の擬似的な変動表示がおこなわれる毎に減算され、

前記疑似連演出において、前記カウンtdown表示が所定数値になったら、前記装飾図柄の擬似的な変動表示を強制的にリーチにする、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

[適用例1]

複数種類の表示演出を実行可能な表示手段と、

図柄の変動表示を表示可能な図柄表示手段と、

前記図柄表示手段による前記図柄の変動表示に応じて装飾図柄の変動表示を表示可能な装飾図柄表示手段と、

を備え、

第1の遊技状態と、第1の遊技状態よりも遊技者にとって有利な第2の遊技状態とを有し、前記第2の遊技状態は、前記図柄表示手段による前記図柄の変動表示が予め定められた回数実行されるまで継続する遊技機であって、

前記表示手段は、前記複数の表示演出のうちの一つの演出として、前記第2の遊技状態における前記図柄の最終変動表示がおこなわれているときに所定のメータ演出を実行可能であり、

前記メータ演出は、第1画像と第2画像とを有し、前記図柄の変動表示に応じて前記第2画像が前記第1画像上を第1位置から第2位置まで移動することで、当該図柄の1回の変動を報知可能とし、

前記装飾図柄表示手段は、疑似連演出を実行可能であり、

前記第2画像は、前記疑似連演出における前記装飾図柄の擬似的な変動表示の回数に応じて移動し、

前記疑似連演出において、前記第2画像が前記第1画像の所定位置まで移動したら、前記装飾図柄の擬似的な変動表示を強制的にリーチにする、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

[適用例2]

複数種類の表示演出を実行可能な表示手段と、

図柄の変動表示を表示可能な図柄表示手段と、

前記図柄表示手段による前記図柄の変動表示に応じて装飾図柄の変動表示を表示可能な装飾図柄表示手段と、

を備え、

第 1 の遊技状態と、第 1 の遊技状態よりも遊技者にとって有利な第 2 の遊技状態とを有し、前記第 2 の遊技状態は、前記図柄表示手段による前記図柄の変動表示が予め定められた回数実行されるまで継続する遊技機であって、

前記表示手段は、前記複数の表示演出のうちの一つの演出として、前記第 2 の遊技状態における前記図柄の最終変動表示がおこなわれているときに所定のカウントダウン表示演出を実行可能であり、

前記カウントダウン表示演出は、カウントダウン表示が第 1 の数値から所定数ずつ減算されて第 2 の数値になることで、当該図柄の 1 回の変動を報知可能とし、

前記装飾図柄表示手段は、疑似連演出を実行可能であり、

前記カウントダウン表示は、前記疑似連演出において前記装飾図柄の擬似的な変動表示がおこなわれる毎に減算され、

前記疑似連演出において、前記カウントダウン表示が所定数値になったら、前記装飾図柄の擬似的な変動表示を強制的にリーチにする、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】削除

【補正の内容】